

タイトル『

流浪の月

』

著者： 風良ゆう

出版社： 創元文芸文庫

あらすじ

父と母と親子3人で過ごした自由な毎日。  
あの幸せは永遠に続くよ、わたしは信じて  
いた。

それが、みんなさんびとにばっちゃんだ。  
最初にお父さんがいなくなると、次にお母さんも  
いなくなると。そして、わたしの幸福な日々は終  
わりを告げた。

少しずつ心が死んでいくわたしに居場所を  
くれたのは、家族でも恋人でもない文だった。  
それがどのような結末を迎えるかも知らない  
ままに...

誘拐された九歳の女の子と誘拐した大学生の男。  
事件の裏には一体何があったのか。

新しい人間関係への確立を描いた、本屋大賞  
受賞の作品。

投稿日 年 月 日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

みけり

年齢

13

仙台市 太白図書館 YAコーナー